

授業科目 社会病理学

【担当教員名】 寺田 貴美代	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G10】

貧困や失業、児童虐待、自殺、環境問題、犯罪、非行、DV、差別など、現代社会におけるさまざまな社会問題について、その実態および社会的要因を考察し、理解を深めることを目標としている。そのためこの授業では、受講生が関心を持っている社会問題について考察し、他の学生と意見交換を通して問題意識を高めることを目指す。

【行動目標：SB0】

1. 社会病理（学）に関する基礎を修得する
2. 社会福祉分野に関する社会問題を理解し、考察する
3. 社会問題に対する自分なりの意見を説明する
4. 他者と意見交換することにより、それぞれの問題意識を深める

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	社会福祉と社会問題（1）	1, 2	講義
2	社会福祉と社会問題（2）	1, 2	講義
3	さまざまな社会問題を考える（1）	1～4	講義・グループ学習
4	さまざまな社会問題を考える（2）	1～4	講義・グループ学習
5	さまざまな社会問題を考える（3）	1～4	講義・グループ学習
6	社会問題の検討・意見交換（1）	1～4	講義・ディスカッション
7	社会問題の検討・意見交換（2）	1～4	講義・ディスカッション
8	前半の総括	1, 2	講義
9	新たな社会問題（1）	1～4	講義・グループ学習
10	新たな社会問題（2）	1～4	講義・グループ学習
11	新たな社会問題（3）	1～4	講義・グループ学習
12	社会問題の検討・意見交換（1）	1～4	講義・ディスカッション
13	社会問題の検討・意見交換（2）	1～4	講義・ディスカッション
14	総括（1）	1, 2	講義
15	総括（2）	1, 2	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない（プリントを配布する）。			
参考書	適宜、授業中に紹介する。			
その他の資料	授業で配布するプリントに、必要な資料を掲載する。			

【評価方法】

1. 授業中に配布するプリントの提出内容、2. 出席数、3. 授業への参加度を総合して評価する。

【履修上の留意点】

講義を一方的に聞くのではなく、他の学生と意見交換をする機会を設ける。そのため、授業へ積極的に参加する姿勢が必要であり、それをもとに授業への参加度を評価する。